

折り鶴活用

# 採用案 8月試行

## 広島市 あすから案を公募

広島市の松井一実市長は30日の記者会見で、市が大量保存している折り鶴を別の形に活用するアイデアを6月1日から募る考えを正式表明した。長期にわたる大量保

存を目指してきた秋葉前市政の方針を全面転換する。採用案の一部は、まず今年の8月6日前後に試行する。松井市長は、折り鶴を活用する意義に関して、折り鶴の案を披露した。これまでもボールペンの

胴体やはがきに再生させる案を例示している。

平和記念公園(中区)



記者会見で折り鶴の活用策を募集する方針を説明する松井市長

の原爆の子の像には毎年、国内外から1千万羽以上の折り鶴が届く。2002年度からは、「折り鶴ミュージアム(仮称)」を構想する秋葉忠利前市長の指示で焼却せず、市の施設で保管してきた。10年度末で1億1千万羽、93%以上長期保存には市議会に根強い反対があっ

た。1日に開始する活用策の公募では事業の実施主体も募る。参考意見として折り鶴を一定期間、保存・展示することへの是非も聞く。7月29日締め切り。応募用紙は市の施設やホームページで入手できる。市平和推進課 ☎082(242)7831。(金崎由美)